科目名	担当教員名	授業形態	単位数	資格	大学 DP	学科 DP	学習成果
統計学	熊澤　大輔	講義	2		1,2,3,4	1,2,5	2,3,4

授業概要 授業目的	本科目では、世の中にある無数の財・サービスの投入-産出関係を表した産業連関表の解説から始まり、それらを用いた基本的な分析手法（経済波及効果の計算や投下労働量の計算）までを学ぶ。講義では、世の中に二種類の財・サービスしか存在しないと想定することで、産業連関表の読み方や構造を簡単に説明する。また、講義の性格上、計算が必須になるが、授業内で練習問題を複数回行うことで理解度を深め知識の確認をしていく。講義後半では、投下労働量の計算を通じて、資本主義社会では労働の搾取が存在することを証明する（マルクスの基本定理の証明）。
到達目標	・産業連関表の読み方と構造を理解する。 ・産業連関表を用いて経済波及効果や投下労働量が計算できる。 ・Excel の操作に慣れる。

回	学習内容
1	イントロダクション（講義の射程、成績評価）
2	資本主義経済の特徴①成長と分配
3	資本主義社会の特徴②階級とオッズ比
4	産業連関表の構造①経済波及効果
5	産業連関表の構造②逆行列係数
6	【練習問題】逆行列係数の計算
7	産業連関分析①投下労働量（雇用の波及効果）
8	産業連関分析②一般的なケース
9	【練習問題】投下労働量の計算
10	Excel を使った経済波及効果の計算
11	労働配分と労働の搾取
12	マルクスの基本定理（図を使った証明と二部門モデルの証明）
13	【練習問題】労働の搾取の計算
14	産業連関分析の応用
15	総論（復習、まとめ）

予習内容 復習内容	予習：配布予定レジュメの通読 復習：練習問題の解きなおし
教科書	なし。毎回パワーポイントを配布する。
成績評価	中間レポート(50%)　期末レポート(50%)
実務経験	なし。
その他 特記事項	レジュメの配布や出欠管理、レポートの提出などすべて Google の classroom を用いて行う。産業連関表は Excel で作られているため Excel が使える環境であることが望ましい。